



## 社会の健康

基本目標

8

# 市民の活力があふれるまち

国内では生産年齢人口や世帯人数が減少しており、日本の社会経済全体はもちろん、家族の規模が小さくなることによる日常生活などへの影響が懸念されます。この先、大和市の人口も緩やかな減少期へと移行する見込みであることから、市民一人ひとりや地域などの力を結集し、それぞれの活動・交流を活発化させながら、暮らしやすい元気なまちにしていくことが必要になってきます。

年齢や性別、国籍などの違いを越えて相互に認め合い、尊重し合える人間関係を築いていくことにより、地域や職場など、社会における多様な活動について、市民一人ひとりの適切な役割分担のもとで、ともに歩んでいける地域社会を形成していきます。

買い物など便利な生活を支える機能を維持しながら、まちの魅力を高め、交流人口の増加や市民の定住志向の向上につなげるとともに、本市の実状を踏まえたまちのにぎわいの創出や産業の活性化に取り組み、経済の振興を図っていきます。

地域活動や市民活動は、まちに活力を与える大切な役割を果たしています。高齢化や人口減少がさらに進展した今後の社会の中で、私たちが日常生活を気持ち良く送れるよう、住民同士が気軽に助け合ういわゆる「互近助」の関係が形成されることを理想としながら、活動を支えていきます。

大和市は「健康都市」を実現するために、あらゆる力が集まり、相互に刺激し合うことにより市域全体が活性化する、「市民の活力あふれるまち」づくりを推進します。

個別  
目標

8-1 互いに認め合う社会をつくる

8-2 まちのにぎわいと地域経済の  
振興を図る

8-3 地域活動・市民活動を活発にする

### 個別目標 8-1

## 互いに認め合う社会をつくる

### 現状と課題

- 生産年齢人口の減少やダイバーシティの広がりなどによる働き方の変化、グローバル化や技術革新、経済的な事情をはじめとする格差の拡大、ライフスタイルの変化と相俟って、人々の価値観の多様化が進んでおり、差別に関する諸問題もますます複雑化しています。
- 人の役割を性別や年齢、障がいの有無、国籍などによって固定的に捉える向きは、地域や職場など社会的に、また、家庭のレベルでも改善されてきていますが、十分ではありません。
- 配偶者やパートナーからの暴力である「DV」の相談件数については、全国的に増加基調にあります。被害者は女性が大半を占めていますが、男性被害者も増えるなど、問題が複雑かつ深刻化しており、未然防止、相談体制の充実、被害者の安全確保などが一層求められています。
- 重要な方針の決定に参画する女性の割合が、依然として低い水準にあるなど、男女共同参画社会の実現に向けて解決すべき課題が残されています。
- 市内には多様な国と地域につながる市民が多く在住しており、日常生活における情報支援のほか、日本人市民とともに社会に参画していく環境づくりが求められています。
- 平和都市宣言を行っている大和市は、戦争を決して繰り返さないよう、恒久平和と核廃絶に向けた取り組みを着実に進めていくことが必要です。

### 取り組み方針

- あらゆる差別がなく、いつでも、社会のいかなる場面においても、子どもや高齢の方、障がいのある方、外国につながる方など、すべての人の人権が尊重される社会の実現を目指します。
- 急速に変化する社会情勢などを注視し、性的マイノリティをはじめとする新たな人権課題を的確に把握しながら、年齢や性別、国籍などに関わりなく、また、様々な考え方や価値観の違いを理解し、認め合えるよう、ともに生き、支え合うことの大切さを学ぶ機会を提供するなど、啓発と教育を進めます。
- DVの未然防止に向けた啓発を進めていくとともに、相談窓口を設けて相談者に丁寧に対応し、個々の状況や抱える課題に応じた情報提供を行っていきます。また、警察及び関係機関等との連携を強化し、被害者の安全確保、迅速な緊急避難を図ります。
- 市民をはじめ、地域や学校、NPO、民間事業者等と連携し、性別に関わりなく、その個性と能力を十分に発揮できるよう、ワーク・ライフ・バランスの浸透を図るなど、男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを推進していきます。
- 多様な国と地域につながる市民に向けて、行政情報を多言語等で分かりやすく提供していくとともに、外国人支援団体等と連携しながら、日常生活、災害時を問わず、スムーズに暮らすことができるように支援していきます。また、日本人市民とともに地域社会に参画する環境づくりを通して、すべての人が国籍を問わず、支え合い、共に暮らす地域社会を形成し、海外友好都市との交流なども進めながら、相互理解を促進していきます。
- 大和市平和都市宣言の趣旨である「人類の永遠の平和を希求し、真の恒久平和を実現するため」、様々な機会を捉えて啓発活動等を進めていきます。

めざす成果 8-1-1

あらゆる差別がなく  
すべての人が互いの  
人権を尊重し合っている

年齢、性別、国籍、障がいの有無などによる差別がなく、また、家庭、地域、学校、職場などあらゆる場面において、誰もがその人らしく生き生きと活動しています。

成果を計る主な指標	現状値	中間目標値 (2021)	最終目標値 (2023)
地域に差別意識はないと思う市民の割合	66.9% (2016)	74.0%	76.0%



人権を考える集い



関連する  
めざす成果

- ・ 2-1-1 高齢の方やその家族が、不安・負担を取り除くために必要な支援を受けられる (p.39)
- ・ 2-1-2 障がいのある方が地域の中で自立した生活を送っている (p.39)
- ・ 2-2-1 地域の温かい支えとともに人生を安心して送ることができている (p.41)
- ・ 4-1-2 子どもが個性・能力にあった教育を受けている (p.51)
- ・ 4-2-2 多様性を尊重し他者とともに生きるための社会性が育っている (p.55)
- ・ 4-2-3 子どもが豊かな感性を身につけている (p.55)

めざす成果 8-1-2

男女共同参画が  
実感できている

男女がそれぞれの能力を十分に発揮し、家庭、地域、職場、政策決定の場など、あらゆる面で協力し、社会の発展を支えています。

成果を計る主な指標	現状値	中間目標値 (2021)	最終目標値 (2023)
男女が平等であると感じる市民の割合	21.9% (2017)	26.0%	28.0%
審議会、委員会などにおける女性委員の割合	29.7% (2018)	33.0%	35.0%



関連する  
めざす成果

- ・ 4-2-2 多様性を尊重し他者とともに生きるための社会性が育っている (p.55)

基本目標 1

基本目標 2

基本目標 3

基本目標 4

基本目標 5

基本目標 6

基本目標 7

基本目標 8

基本目標 1

基本目標 2

基本目標 3

基本目標 4

基本目標 5

基本目標 6

基本目標 7

基本目標 8

### めざす成果 8-1-3

## 地域の中で多文化共生が行われている

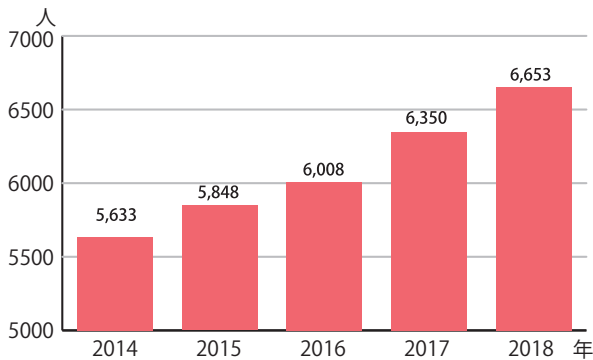
大和市に居住する外国人市民と日本人市民との間で活発な交流が行われ、相互理解が進んでいます。また、国際理解のもと平和への意識が高まっています。

成果を計る主な指標	現状値	中間目標値 (2021)	最終目標値 (2023)
多文化共生・国際交流が行われていると思う市民の割合	22.3% (2016)	27.5%	29.5%
外国人を支援するボランティア登録者数	314人 (2016)	350人	380人



関連するめざす成果 | ・4-2-2 多様性を尊重し他者とともに生きるための社会性が育っている (p.55)  
・7-2-1 文化や芸術に親しむ人が増えている (p.85)

住民基本台帳による外国人登録者数の推移 資料：市民課（各年末時点）



基本目標 1

基本目標 2

基本目標 3

基本目標 4

基本目標 5

基本目標 6

基本目標 7

基本目標 8



やまと世界料理の屋台村

### 個別目標 8-2

## まちのにぎわいと 地域経済の振興を図る

### 現状と課題

- 市内で企業等が活発に活動することは、雇用の確保はもちろん、周辺に及ぶ経済効果も含め、まちのにぎわいに大きく寄与し、私たちの暮らしを便利にしてくれます。
- 戦後2番目の長さと言われている景気の緩やかな回復と生産年齢人口の減少により、人手不足が指摘されています。現在のところは、高齢の方や女性の労働参画率が高まっていることで、労働力が維持されている状態ですが、さらなる高齢化と人口減少の進展によって、労働力不足や後継者問題が生じると考えられています。
- 景気の回復に伴って有効求人倍率は全国的に高い水準にあります。非正規雇用が中心となっていることもあり、若い世代では、他の年齢層に比べ失業率が高くなっています。
- 都市農業が安定的に営まれることは、新鮮な農産物の供給のみならず、貴重な緑地である農地の保全につながり、都市の環境、景観、防災など多面的な役割も果たします。農業生産者の高齢化や後継者不足などから、営農環境の維持に向けた取り組みを支援する必要があります。
- 市内には貴重な緑地や公園、文化創造拠点シリウスをはじめとする公共施設があり、また、市内外から多くの人を集める魅力的なイベントが数多く開催されるなど、様々な観光資源があふれています。

### 取り組み方針

- 企業活動の振興に向け、市内企業の継続を図るための操業支援のほか、高い交通利便性など本市の特性を生かし、企業の誘致に取り組みます。
- 「さがみロボット産業特区\*」に加入する本市は、ロボット関連産業を誘致するとともに、生産性の向上に向けてロボットの導入を進める中小企業等を支援します。また、事業承継を含めた経営相談などに取り組むほか、資金調達や起業のサポートも進めていきます。
- 商業戦略計画に基づき、大和商工会議所や商店会と連携し、特産品・新商品の開発などの支援やPRを進め、商業の振興を図ります。
- 若年者をはじめとする就職希望者に向けてセミナーや相談会を開催するとともに、スキルアップを含めた支援を進めます。
- 健康経営優良法人を奨励することなどにより、中小企業の勤労者の福利厚生や技能の習得を支援していきます。
- 新鮮で安全な地域農産物を生産する農家と市民をつなげるため、朝霧市や夕やけ市\*などの運営を支援します。
- 施設整備などによる農業の近代化を支援することで、農産物の安定的な生産等を推進します。また、援農サポーターの育成及び農家への橋渡しを行い、大和市の都市農業を支えています。
- 市内イベントの開催を支援するとともに、日常にある地域資源を生かした参加型のイベントなどを開催し、市民の地域への愛着意識を育むほか、フィルムコミッションの効果的な展開によってシティセールスを進めることにより、交流・流入人口の拡大を図ります。

\*さがみロボット産業特区……生活支援ロボットの実用化や普及を促進するとともに、関連企業の集積を進めること目的に、国の指定を受け進めている取り組みです。大和市のほか、県内11の市や町が加入しています。

\*朝霧市、夕やけ市……市内で開催されている農産物の直売市です。

めざす成果 8-2-1

商店街や企業が活発に活動している

商店や企業に活気があり、活発に経済活動を展開しています。また、新たに事業を始める人が増えています。

成果を計る主な指標	現状値	中間目標値 (2021)	最終目標値 (2023)
大和市は、買い物がしやすいと思う市民の割合	66.5% (2016)	69.0%	70.0%
市内商業者が商店会等に参加している割合	68.0% (2016)	68.0%	68.0%
市内事業所数	7,479 事業所 (2018)	7,550 事業所	7,620 事業所
法人設立数	273 件 (2017)	300 件	330 件
起業家支援スペース*の稼働率	100.0% (2018)	100.0%	100.0%



関連するめざす成果 | 6-2-2 良好なまち並みが形成されている (p.76)

めざす成果 8-2-2

市内で働く人が増え、生き生きと働いている

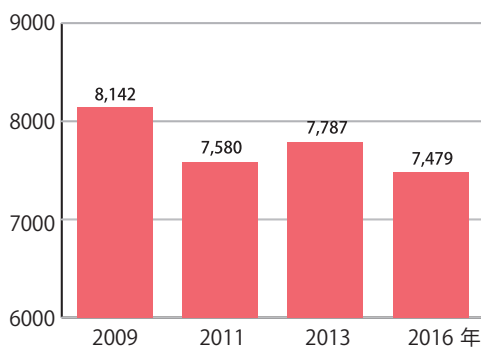
市内での求人が増え、働く意欲のある人に就業の機会が提供されています。また、市内の職場の就労環境が安全かつ快適で、ワーク・ライフ・バランスも進んでいます。

成果を計る主な指標	現状値	中間目標値 (2021)	最終目標値 (2023)
市内事業所従業者数	76,799 人 (2018)	77,500 人	78,300 人
勤労者サービスセンター*の加入者数	3,351 人 (2017)	3,380 人	3,420 人
健康経営による産業表彰*数 (累計)	1 事業者 (2017)	3 事業者	4 事業者

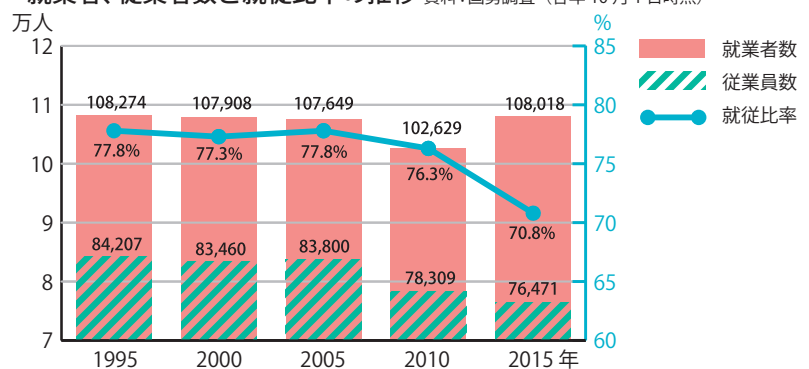


関連するめざす成果 | 1-1-1 一人ひとりが健康づくりに取り組み元気で暮らしている (p.32)

市内事業所数の推移 資料：経済センサス



就業者、従業者数と就従比率の推移 資料：国勢調査 (各年 10月1日時点)



\* 起業家支援スペース……これから起業する方や起業から間もない方を支援するためのレンタルオフィスで、市民活動拠点ペテルギウス内に設置しています。Rigel (リゲル) という愛称です。  
 \* 勤労者サービスセンター……中小企業の事業主、勤労者及び行政が協力して相互扶助の精神に基づく総合的な福利厚生事業を行う任意団体で、事務局は大和市勤労福祉会館内にあります。  
 \* 健康経営による産業表彰……市内で働く勤労者の勤労意欲の高揚と市の商・工・農業の振興を目的とした産業人表彰のうち、従業員に向けた健康づくりに積極的に取り組む市内企業を表彰するものです。

基本目標 1

基本目標 2

基本目標 3

基本目標 4

基本目標 5

基本目標 6

基本目標 7

基本目標 8

基本目標 1

基本目標 2

基本目標 3

基本目標 4

基本目標 5

基本目標 6

基本目標 7

基本目標 8

### めざす成果 8-2-3

## 都市農業が営まれ、 地域農産物が安定的に 消費されている

都市農業への理解が進み、農業生産が維持されて消費者と直結した地産地消が行われています。

成果を計る主な指標	現状値	中間目標値 (2021)	最終目標値 (2023)
援農サポーター*の登録者数	40人 (2017)	42人	45人
朝霧市、夕やけ市、おさんぼマートの年間開催回数	152回 (2017)	150回	150回



関連する  
めざす成果

- ・1-1-1 一人ひとりが健康づくりに取り組み元気で暮らしている (p.32)
- ・5-1-2 防災・減災のしくみが整っている (p.60)
- ・5-1-3 都市の防災機能が充実している (p.61)
- ・6-1-3 緑地が保全されるとともに、市街地の緑化も進んでいる (p.72)
- ・6-1-4 深呼吸したくなる空気や、きれいな水に囲まれて生活している (p.72)
- ・6-2-2 良好なまち並みが形成されている (p.76)

### めざす成果 8-2-4

## 多くの人「大和」に 訪れ、まちの魅力も 高まっている

大和市の魅力をPRするとともに、観光資源の活用が進み、交流人口が拡大しています。

成果を計る主な指標	現状値	中間目標値 (2021)	最終目標値 (2023)
観光イベントの総来場者数	936,400人 (2017)	1,153,000人	1,160,000人
観光施設等の年間総来場者数	1,014,532人 (2017)	1,035,000人	1,045,000人
フィルムコミッション*で 対応した撮影件数	53件 (2017)	62件	62件



関連する  
めざす成果

- ・6-2-2 良好なまち並みが形成されている (p.76)

\*援農サポーター……高齢化や、人手不足などの悩みを持つ農家をサポートするため、一定の農業技術を身につけ、農業生産者のもとで農作業に従事する方を指します。  
\*フィルムコミッション……映画等の撮影場所誘致や撮影支援をする機関です。「さがみの国大和フィルムコミッション」は、平成23年に設立されました。





おさんぽマーケット



渋谷よさこい

基本目標 1

基本目標 2

基本目標 3

基本目標 4

基本目標 5

基本目標 6

基本目標 7

基本目標 8

### 個別目標 8-3

## 地域活動・市民活動を 活発にする

### 現状と課題

- 高齢化や核家族化、それに伴う一世帯当たりの人数の減少などにより、地域で助け合うことの必要性が高まっていますが、地域活動の中心的な役割を担っている自治会への加入率は低下傾向にあります。
- 地域活動の拠点となっているコミュニティセンターでは、施設の老朽化や、利用者の固定化がみられます。
- 公共的なサービスの担い手になっている NPO 法人等の市民団体の中には、人材や資金の確保に不安を抱える団体もあります。
- 元気な高齢の方が増えている中、地域や社会に貢献したいと考える人をボランティアや地域活動に結びつけ、活躍してもらえるようにしていくことが必要です。活躍が進むことで、地域や市民生活の向上が図られるとともに、活動する本人の生き生きとした暮らしにつながることも期待されます。

### 取り組み方針

- 自治会連絡協議会の運営や自治会の活動をきめ細かく支援し、地域活動や市民同士の支え合いが活性化するように促すなど、地域の絆を深める取り組みを推進します。また、自治会連絡協議会及び関係機関との連携により、転入者や外国人市民、自治会未加入者に向けて自治会が果たす役割などについて周知啓発を進めながら、加入を促します。
- コミュニティセンターの快適性を高める施設改修や、利用しやすい環境づくり、自治会館の施設整備の支援などを行い、地域活動の拠点の充実を図ります。
- NPO 法人等の市民団体について、設立支援や活動場所の提供を行うなど、公共的な活動に行政と協働して取り組みやすい環境づくりを進めます。
- ボランティア活動を希望する人に、きめの細かい情報提供を行い、気軽に、安心して参加できる環境を整えます。



自治会活動

めざす成果 1  
8-3-1

地域の活動が  
活発に行われ、  
絆が深まっている

地域の中で住民同士が世代を越えて活発に交流し、様々な活動が行われています。

成果を計る主な指標	現状値	中間目標値 (2021)	最終目標値 (2023)
地域活動に参加している市民等の割合	24.3% (2016)	29.5%	31.5%
自治会への加入世帯割合	66.1% (2017)	68.1%	69.1%
コミュニティセンター1館 当たりの年間平均利用者数	16,417人 (2017)	17,100人	17,400人

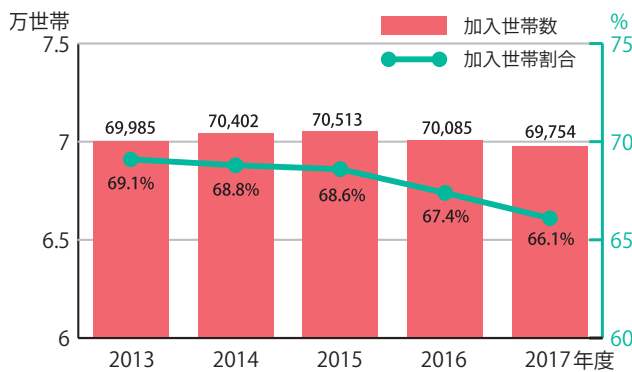


関連する  
めざす成果

- ・ 1-1-1 一人ひとりが健康づくりに取り組み元気で暮らしている (p.32)
- ・ 2-1-1 高齢の方やその家族が、不安・負担を取り除くために必要な支援を受けられる (p.39)
- ・ 2-1-2 障がいのある方が地域の中で自立した生活を送っている (p.39)
- ・ 2-2-1 地域の温かい支えとともに人生を安心して送ることができる (p.41)
- ・ 3-1-1 すべての子どもがすくすくと健康に育っている (p.45)
- ・ 4-2-1 心身ともに健康に学校生活を送ることができる (p.54)
- ・ 5-1-1 災害に対して自ら備えをしている (p.60)
- ・ 5-2-1 犯罪の不安を感じることなく暮らしている (p.63)
- ・ 5-2-4 十分な消防力が整っている (p.64)
- ・ 6-1-2 ごみの減量・資源化により循環型社会への歩みが進み、清潔なまちが維持されている (p.71)
- ・ 6-2-2 良好なまち並みが形成されている (p.76)
- ・ 6-2-3 道路や公園を快適に利用している (p.77)
- ・ 7-2-2 郷土の文化がしっかりと引き継がれている (p.85)
- ・ 7-3-1 スポーツを楽しむ人が増えている (p.87)

自治会への加入世帯数と加入率の推移

資料：自治会連絡協議会（各年度6月1日時点）



基本目標 1

基本目標 2

基本目標 3

基本目標 4

基本目標 5

基本目標 6

基本目標 7

基本目標 8

基本目標 1

基本目標 2

基本目標 3

基本目標 4

基本目標 5

基本目標 6

基本目標 7

基本目標 8

### めざす成果 8-3-2

## 公共を担う市民や事業者が増えている

行政との役割分担のもと、気軽に参加しやすい風土が醸成され、公共的な活動に取り組む市民や事業者が増えています。

成果を計る主な指標	現状値	中間目標値 (2021)	最終目標値 (2023)
市民活動センター利用登録団体数	139 団体 (2017)	230 団体	250 団体
市からのボランティア情報提供者数	155 人 (2017)	225 人	271 人
ベテルギウス（本館）年間来館者数	—	75,300 人	78,300 人



関連する  
めざす成果

- 1-1-1 一人ひとりが健康づくりに取り組み元気で暮らしている (p.32)
- 2-1-1 高齢の方やその家族が、不安・負担を取り除くために必要な支援を受けられる (p.39)
- 2-1-2 障がいのある方が地域の中で自立した生活を送っている (p.39)
- 2-2-1 地域の温かい支えとともに人生を安心して送ることができる (p.41)
- 3-1-1 すべてのこどもがすくすくと健康に育っている (p.45)
- 3-1-2 こどもを望んだ時からサポートを受けられる (p.45)
- 5-1-1 災害に対して自ら備えをしている (p.60)
- 5-2-1 犯罪の不安を感じることなく暮らしている (p.63)
- 6-3-1 地域交通の利便性が確保されている (p.79)
- 7-1-2 学びに関わる人が増えている (p.83)
- 7-2-1 文化や芸術に親しむ人が増えている (p.85)
- 7-3-1 スポーツを楽しむ人が増えている (p.87)



市民活動拠点ベテルギウス



ベテルギウス団体交流会

基本目標  
1

基本目標  
2

基本目標  
3

基本目標  
4

基本目標  
5

基本目標  
6

基本目標  
7

基本目標  
8

